



上野村へ行こう！

伝統回帰の暮らしを体験

♥ 上野村とは

群馬県の最西南端、東京から約2時間ほどの距離なのに、驚くほどの自然や古来からの生活様式、村人の暖かな心粹などが色濃く残されています。

♥ 内山 節先生との関わり

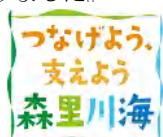
内山先生は1970年代、渓流釣りなどの縁から上野村に住むようになり、現在でも、東京と上野村との往復生活を続けていらっしゃいます。上野村では畑を耕し、森を歩きながらの暮らしを楽しみ、「里」の思想など哲学の深化を求めてこられました。(内山先生は御多忙のため、残念ながら今回観察会には参加されません)



町面積 182 km²、人口約 1100 人、人口密度 6.15/km²は群馬県最小。山間に位置する過疎地域であるが、2005年に東京電力神流川発電所が完成、固定資産税収が増加し財政改善。1985年(昭和60年)8月に発生した日航ジャンボ機墜落事故の墜落地点といわれる御巣鷹山があり、明治初年に起きた自由民権運動「秩父事件」の舞台にもなりました。

◆ 2019年度、地球環境「自然科学」講座は環境省近畿地方環境事務所後援をいただき活動します。

2019.4.14 地球環境「自然科学」講座



- 実施日：2019年6月25日(火)～27日(木)
- 募集人数：25名(田中克先生、スタッフ除く)
- 参加費：70,000円(キャンセル時、交通機関、宿泊施設の規定によりキャンセル料をいただくことがあります)
- 行程概要：一部変更することがあります。

1日目(6月25日)

新大阪 7:40 発 (のぞみ212号) ⇒ 東京着(上越新幹線乗換) ⇒ 高崎着 11:33 (バスに乗り換える) 上野村 14:00頃着。宿泊不二野家(※1)。夕刻まで川和自然公園遊覧(不二洞(鍾乳洞)、スカイブリッジ、まほーばの森など)

2日目(6月26日)

慰霊の園(日航機事故犠牲者慰霊碑・献花) ⇒ 旧黒沢家住宅 ⇒ 浜平温泉(シオジの湯入浴)・昼食 ⇒ 白井集落の人々との交友(※2) ⇒ 川の駅・神流川周辺散策 ⇒ 今井屋旅館(※3)(上野村の人々との懇親)

3日目(6月27日)

竜神の滝 ⇒ 道の駅上野 ⇒ 福寿庵(昼食) ⇒ 恐竜センター ⇒ 高崎発 14:38 ⇒ 東京 ⇒ 新大阪着 18:10

集合場所、時刻、持参品などを含む詳細は、参加者決定後「実施要綱」でご案内します。

5. お申込み

- 講座日提出：5月11日(土)午後1時までに申込票を提出ください。
- メール/FAXでのお申込み：5月10日(金)までに飯田又は叶へ。
- お申込み多数のとき5月11日休憩時に抽選。

6. 問合せ・申込先

飯田正恒：TEL/FAX 072-689-3298 Eメール mstsn55@jupiter.zaq.jp
叶 昭子：TEL 090-3260-0512 Eメール s_kano485@tiara.ocn.ne.jp

※1 不二野家(民宿旅館)：

当主は長年狩猟を行いジビエ料理を提供。農業、川漁師もしながら民宿を営み、昔ながらの生活を続ける。

※2. 白井集落：

昔は街道沿いの宿場町。ここで郷土料理をいただきながら村人と語らいます。

※3. 今井家旅館：

秩父事件とも関連のある、上野村でもっとも歴史のあるお宿。

*****上野村観察会申込票*****

申込日 月 日

氏名：	ふりがな	電話